

コア歯学教育演習（Ⅰ）

コーディネーター：歯周療法学分野 八重柏隆教授

担当：歯学部全講座（分野）

第4学年 前期・後期

	演習
前期	13.5 時間
後期	141.0 時間

学修方針（講義概要等）

3クール制の総合試験・解説講義や ICT を活用した繰り返し演習を実施することにより、4年次後期までに履修する歯科医学的重要事項を再確認し修得する。本科目を履修することで5年次臨床参加型実習に必要且つ十分な基本的な学力を養い、歯科医学的知識基盤の確立を目指す。

教育成果（アウトカム）（演習）

4年間の学部教育の中で、これまでに学んだ基礎歯科医学、臨床歯科医学および社会歯科医学について ICT を活用して各演習試験を繰り返し実施することによって、5年次の臨床実習に入る前に、これら履修済み歯科医学のコア歯学教育修得状況を自らが再確認できる。講義室演習試験（講義室での DESS 演習）で判明した理解不足の弱点領域を復習することにより真に臨床実習を行うに足るレベルの知識を身につけることができる。

講義・演習を終了後、共用試験（CBT）を実施する。

（ディプロマ・ポリシー 4）

事前学習内容及び事前学習時間（30分）

事前学習（予習）は、シラバスに記載されている各回の演習・試験内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分以上を要する。適宜、コア歯学教育演習Ⅰ解説講義で事前学習内容の確認時間を設ける。

特記事項・その他

DESS お試し演習を演習試験前日まで演習設定する。各学生は同教材を事前に予習した上で、各演習試験に臨むこと。講義室演習試験実施日にはインターネットに接続可能な PC、タブレット等を準備しておくこと。CBT 学内試験、CBT ネット模擬試験およびコア歯学教育演習Ⅰの各4年（コア歯学）総合試験（A, B, C）は CBT 本試験と同様にマルチメディア教室 PC を使用して実施する。

講義・演習・試験日程

月 日	講義・演習・試験の概要
4月～11月 9月～11月	DESS 演習試験 詳細は次頁参照 必修一般演習試験（学生の端末を使用、講義室演習） 必修演習試験（学生の端末を使用、講義室演習）：国家試験出題済み必修問題
4月2日(土) 2限 8月19日(金) 1限 9月16日(金) 1限	CBT 学内試験 第1回 CBT 学内試験 第2回 CBT 学内試験 CBT 学内試験再試験（対象：1、2回目各試験の70%未満該当者）
9月16日(金) 2限 9月24日(土) 11月26日(土)	CBT ネット模擬試験（他学部との関係で各予備日有） 説明会 CBT ネット模擬試験①（矢巾キャンパスマルチメディア教室） CBT ネット模擬試験②（同上）
12月15日(木) ～12月22日(木) 1月4日(水) ～1月6日(金) 1月10日(火) ～1月17日(火) 1月19日(木) 1月25日(水)	4年（コア歯学）総合試験各1～4限（A, B, C）および各解説講義 詳細は別に示す。

講義室演習試験（講義室での演習試験、合否判定・再試有）日程（詳細は別に示す）

月 日	演習分野・コース	演習試験の概要	テーマ
4月4日(月) 1、2、3、4限	基礎領域	(2年次履修) 解剖・組織・生理・生化 (3年次履修) 病理・細菌・薬理・理工・衛生	履修済み領域の 知識水準確認
6月29日(水) 1、2、3、4限	IDP, DTP, TxAD FR コース	(3年次履修) 修復・歯内・歯周・衛生 (補綴系) 有床・クラブリ・他	履修済み領域の 知識水準確認
8月19日(金) 2、3、4限	SmAD コース	麻酔・高齢者・歯科放射線	履修済み領域の 知識水準確認
9月16日(金) 3、4限	基礎領域（必修）	必修問題の復習：解剖・組織・生理・生化・病理・ 細菌・薬理・理工・衛生	履修済み領域の 知識水準確認
9月30日(金) 1、2、3、4限	AST コース	口腔外科 ＋必修問題の復習：修復・歯内・歯周・有床・ 口外・クラブリ、高齢者・歯放・歯麻	履修済み領域の 知識水準確認
11月21日(月) 2、3、4限	TxChild コース	小児歯科・矯正歯科 ＋必修問題の復習：小児・矯正	履修済み領域の 知識水準確認

成績評価方法

【受験資格】

- DESS 演習試験：各講義室演習試験に出席すること。講義室演習試験においては、各演習で正答率 8 割以上得点すること。臨床実地演習は全ての演習試験を履修すること。それぞれ基準に達しない場合、基準を満たすまで再演習試験を行うこと。
 - CBT 学内試験第 1 回と第 2 回でそれぞれ 7 割以上得点すること。基準に達しない場合、再試験を受験し必要水準以上の基準を満たすこと。
 - CBT ネット模擬試験①②の 2 回を受験すること。
 - 4 年（コア歯学）総合試験（A, B, C）を受験し、各解説講義を受講すること。
（成績優秀者は 4 年総合試験 C に関する解説講義を免除することがある。）
 - 出席については、前期講義室演習試験（4 月～6 月）、後期講義室演習試験（8 月～11 月）及び 12 月～1 月実施の総合試験とその解説講義のそれぞれで出席に関する規程を満たすこと。
- 以上全てを満たすことを原則とする。

【成績評価について】

共用試験 CBT 本試験成績で評価する（正答率 73%以上かつ IRT530 以上を合格）。追試験および再試験では CBT 本試験と同条件（正答率 73%以上かつ IRT530 以上）または 4 年総合試験成績が必要水準以上であると認められた場合に合格とする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デジタル一眼レフカメラ一式	EOS8000D	1	臨床実習・診療用機器	4年総合試験用問題作成、臨床実習用および診療用機器

4年コア歯学演習Ⅰ（必ずお試し演習で予習してから講義室演習試験に臨むこと）

4年講義室演習試験予定 演習数
 (DESS 演習可能な PC 等 (下欄:
 各自講義室に持参要) 出題数)

4月4日(月)1限 8時50分～10時20分	4 175	解剖 (36)	組織 (38)	生理 (57)	生化 (44)
2限 10時30分～12時	3 211	病理Ⅰ (54)	病理Ⅱ (67)	細菌 (90)	
3限 13時～14時30分	2 160	薬理 (63)	理工 (97)		
4限 14時40分～16時10分	2 204	衛生Ⅰ (104)	衛生Ⅱ (100)		
6月29日(水)1限 8時50分～10時20分	2 124	修復 (75)	歯内 (49)		
2限 10時30分～12時	2 173	歯周 (76)	衛生Ⅲ (97)		
3限 13時～14時30分	1 102	有床 (102)			
4限 14時40分～16時10分	2 125	Cr Br 他Ⅰ (65)	Cr Br 他Ⅱ (60)		
8月19日(金)2限 10時30分～12時	2 178	麻酔 (79)	放射線 (99)		
3限 13時～14時30分	2 130	高齢者Ⅰ (69)	高齢者Ⅱ (61)		
4限 14時40分～16時10分	予備	予備			
9月16日(金)3限 13時～14時30分	2 184	必基礎① (114)	必基礎② (70)		
4限 14時40分～16時10分	1 109	必基礎③ (109)			
9月30日(金)1限 8時50分～10時20分	2 178	口外Ⅰ (103)	口外Ⅱ (75)		
2限 10時30分～12時	2 195	必臨床① (98)	必臨床② (97)		
3限 13時～14時30分	予備	予備			
4限 14時40分～16時10分	予備	予備			
11月21日(月)2限 10時30分～12時	3 204	小児Ⅰ (70)	小児Ⅱ (59)	必臨床③ (75)	
3限 13時～14時30分	2 166	矯正Ⅰ (83)	矯正Ⅱ (83)		
4限 14時40分～16時10分	予備	予備			

注意：再演習試験は12月中旬までに全て完了すること。

必修演習試験の内訳 基礎①114題：解剖・組織・生理・生化・病理、基礎②70題：細菌・薬理・理工、基礎③109題：衛生、臨床①98題：修復・歯内・歯周・有床・口外・クラブ
 リ、臨床②97題：高齢者・歯放・麻酔、臨床③75題：小児・矯正